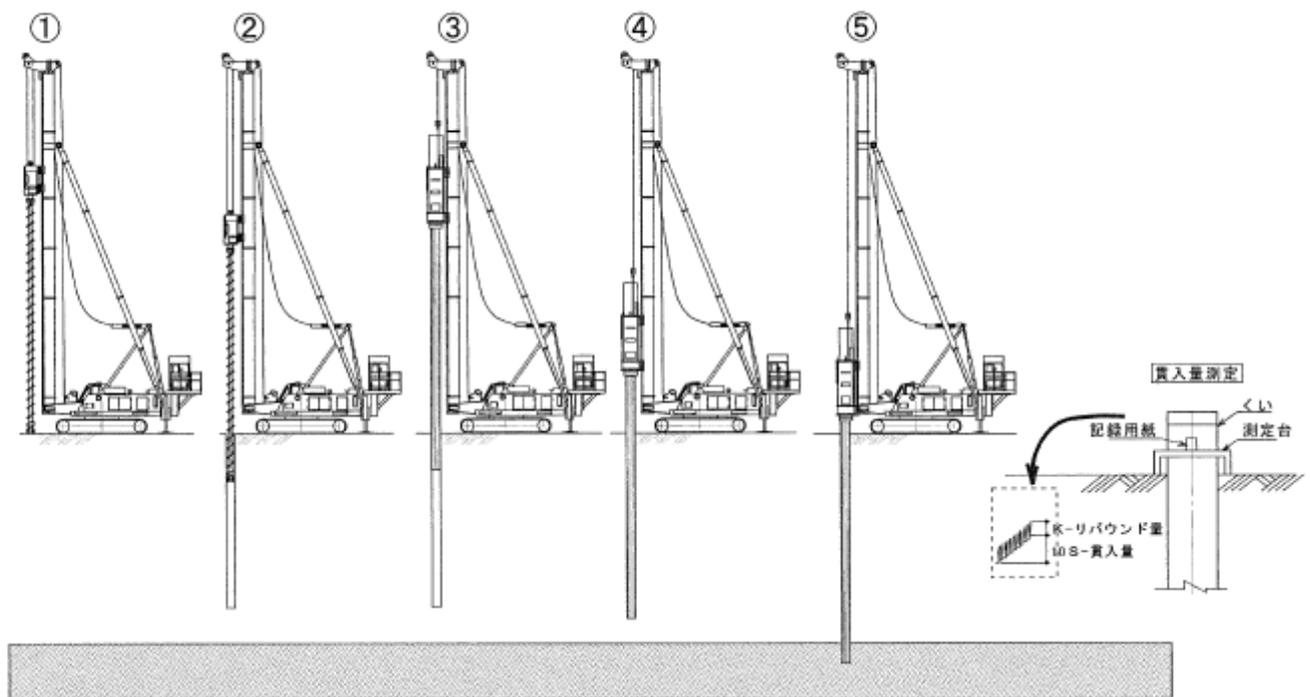


プレボーリング併用打撃工法

オーガで地盤を先行掘削した後、打込み工法によって支持力を発現させる。打込み工法で打ち貫けない中間層がある場合や振動、騒音を低減する目的で用いることが多い。適用杭径は、300～800mm 程度、最大杭長は、杭径の 110 倍程度。孔壁が崩壊して杭が支持層に到着せず高止まりする場合がある。



- ① 杭心位置にアースオーガを建込み鉛直度を確認後、地盤を掘削する。
- ② 所定深度まで掘削し、アースオーガを引上げる。
- ③ 掘削孔に杭を建込み、ハンマキャップを杭頭にかぶせ杭の鉛直度を確認し挿入する。
- ④ ハンマによる打込みを行う。
- ⑤ 打込み終了前に、記録用紙に杭の貫入量(δ)やリバウンド量(k)を測定・記録し、その値から支持力を推定し、要求された支持力が得られたら打込みを完了する。